

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	山口大学医学部附属病院泌尿器科における腎癌の治療成績および予後の検討 2026 年度			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2028 年 4 月 30 日			
③ 対象患者	対象期間に山口大学医学部附属病院において、腎癌に対して手術療法（腎部分切除術、腎摘除術など）および薬物療法を受けた患者さん			
④ 対象期間	2010 年 4 月 1 日 から 2027 年 4 月 30 日 追跡期間：2027 年 10 月 31 日まで			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	泌尿器科			
⑦ 研究責任者	氏名	白石 晃司	所属	泌尿器科
⑧ 使用する情報等	研究対象者背景： 識別コード、年齢（診断時）、性別、ECOG PS（活動レベルの指標）、病名、腫瘍の局在、臨床病期、BMI、家族歴、手術日、術前治療内容（治療開始日含む）、腫瘍特徴（腫瘍のサイズ、突出率、腎洞からの距離、位置、極線との位置関係）、MAP score、（腎臓周囲の脂肪の状態から手術の難易度を評価する指標）、薬物治療の内容（治療レジメン、薬剤による副作用評価） 血液検査データ：血算（白血球数（好中球数、リンパ球数、単球数）、赤血球、血小板）、血液生化学（アルブミン、ALP、LDH、クレアチニン、eGFR、Ca、CRP） 尿検査データ：蛋白尿 画像データ： 腹部エコー、X-p、CT、MRI、RI（骨シンチ） 病理組織学的検査結果：組織型、悪性度、pT stage（病理学的深達度）、リンパ節転移の有無、断端陽性の有無、脈管・リンパ管浸潤の有無、腎洞浸潤の有無 手術内容： 術式、周術期合併症、手術時間、出血量、阻血時間 治療内容： 治療奏効期間、治療総合評価、有害事象 予後・転帰			
⑨ 研究の概要	小径腎癌に対する外科的治療は、ロボット手術手技の向上に伴いロボット支援下腎部分切除術が普及してきております。ロボット支援下腎部分切除術もより大きな腫瘍や部分切除困難な腫瘍部位に対しても、治療適応が広がってきています。また転移性および切除不能な腎癌に対する薬物療法では、免			

	疫チェックポイント阻害剤や分子標的薬との併用療法が保険収載され、治療内容が年々変化してきております。 本研究では、腎癌の治療効果や予後を検証することで、治療法選択や治療効果を予測するバイオマーカーや治療シーケンス（治療優先順位）の検討を目的としています。これらの検討により個々の患者さんに最適な治療が提供可能になる可能性が考えられます。 本研究は、対象期間中に日常診療で得られる情報（臨床病理学的背景、予後などの診療情報および病理）を用いる観察研究であり、介入はなく、特に患者さんに不利益や健康被害などは発生せず、リスク／ベネフィットバランスは高いと考えています。また個人情報の取り扱いには下記別項目に示す如く十分に注意して行われます。 本研究では、前年に当科で行っていた『山口大学医学部附属病院泌尿器科における腎癌の治療成績および予後の検討2025』に引き続き検討を行います。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026 年 8 月 26 日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属する。			
⑮ 研究の資金源	この研究は山口大学附属病院泌尿器科学講座の奨学寄附金を用いて行われます。			
⑯ 利益相反	すべての研究責任者および分担者はいかなる組織・団体とも本研究において利益相反はありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 泌尿器科 担当者： 藤井 央法			
	電話	0836-22-2275	FAX	0836-22-2276